

2023~2027年

# ほっと ほんのほの ささえ愛

～誰ひとり取り残さないまち吉田校区～



ふれあいネットワーク



吉田校区社会福祉協議会



# ごあいさつ

## ほっと ほのぼの ささえ愛 ～誰ひとり取り残さないまち吉田校区～

### 吉田校区 小地域福祉活動第一次計画作成にあたり

吉田校区は周防灘を望み、漁業と農業の地として発展してきました。そして昭和40年代からの経済発展に伴い宅地開発が進み北九州のベッドタウンとして人口増加の一途でした。今世紀にはいり、にれの木坂の大規模開発とともに児童・生徒が急増し、学童保育クラブの校舎増設により運動場が使用できなくなるほどの状況になりました。そんな発展の反面、在住40年、50年の高齢者世帯も増え高齢者が住民の70%を超える町内もあります。私たち住民が一番に取り組まなければいけないのが「明るく、温かく、健康で、楽しく暮らせる安心で安全な町」創りです。その一環としまして社会福祉協議会は地域住民の「ほっとふれあえるまちづくり活動」を積極的に応援してきました。一例をあげると、春・秋のウォーキング、まつり吉田、防災フェス、文化祭、年末の餅つき大会等々。それに高齢者へ誕生日に花鉢のプレゼントも続けています。認知症対策については町内ごとにサロン活動が続けられています。今後は通院・買い物・災害時の避難なども積極的に考えていかなければならない事案だと思います。そのような状況下で今回、吉田校区の社会福祉活動としての「中期5か年計画」を立てることになりました。町内会長さん、各部会長さんそれに福祉協力員の皆さんも一緒に「吉田を住みよいまち」にしていきたいと思います。お力をお貸してください。

令和5年3月

吉田校区社会福祉協議会会長

吉田校区小地域福祉活動計画策定

委員会 委員長

山内 達夫



ほっと ほのぼの ささえ愛 ～誰一人取り残さないまち吉田校区～  
吉田校区 小地域福祉活動第一次計画作成にあたり

2023年～2027年

目 次

ごあいさつ

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画の性格
- 2 計画の期間
- 3 計画の策定過程

第2章 吉田校区の現状と取り組み

- 1 吉田校区の特徴

第3章 第一次計画の体系

- 1 基本理念
- 2 基本目標
- 3 実施項目（体系図）
- 4 重点実施項目

第4章 計画の推進

- 1 計画の承認と周知
- 2 計画を推進するための体制
- 3 第二次計画の策定
- 4 小地域福祉活動第一次計画推進委員会名



# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画の特性

### (1) ほっとふれあうまちづくり計画

この計画は、吉田校区全住民が「ほっとふれあえるまち」になれるよう、様々な地域課題、福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

### (2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、吉田校区全住民に「ほっと地域と寄り添える生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

### (3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

### (4) 吉田校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

## 2 計画の期間

2023～2027年度までの5か年とします。

計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

## 3 計画の策定経過

吉田校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、地域福祉に関する計画を策定するため、吉田校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。令和4年5月11日に役員会を執り行い、6月23日に立ち上げた同委員会において、協議の上、吉田校区小地域福祉活動計画を策定しました。



## 第2章 吉田校区の現状と課題

### 1 地域の特性や福祉課題

吉田校区は古くは農業・漁業を中心に生活を営んできました。それから、昭和40年代の経済発展にともない住宅開発が進み、北九州のベッドタウンとして人口増加の一途をたどりました。

その結果、現在は「高齢化地区」へと一気に進んでいます。

日常の買い物・医療機関・公共施設への交通の便等々今後の課題が山積みです。

吉田校区では現在、社会福祉協力員が月に一度「ほっとふれあい、みまもり訪問」という活動を続けており、多くの「ホットパートナー」に喜んでいただいております。

今後も、この活動を持続し、発展させ続けなければいけません。

そのために、福祉協力員の増員、若返りが喫緊の問題です。

校区の皆様にご理解とご協力をお願いするというのが、現状です。

### 2 主な社会資源

教育機関	吉田小学校・吉田中学校
医療機関	九州労災病院
その他	吉田市民センター・綿都美神社・太陽の丘公園
主な商店等	ゆめマート・アルク・コスモス



## 第3章 計画体系

### 1 基本理念「ほっと ほのぼの ささえ愛」

吉田校区では、世代を超え、笑顔であいさつするまちづくりを目指し、子どもから高齢者までが安心して楽しくいきいきと暮らせる事を願い、「ほっと ほのぼの ささえ愛」を基本理念として計画を推進していきます。

### 2 基本目標

#### (1) 健康寿命を延ばすべく、健康への意識を高める

- ・春と秋の2回高蔵山ウォーキング開催  
子どもから高齢者までが一緒に山登りを行い、高蔵山頂上では、スポーツやゲームを行い、下山後は皆で手作りカレーを食べ多世代交流を図る。
- ・地域でGOGO健康づくりと共催でニュースポーツや健康講話に取り組む  
夏休みに小学校の体育館や、市民センターの講堂を借りてニュースポーツ大会を開催する。  
歯科医師や内科医等地域の病院と連携し、講話を開催する。

#### (2) 若い世代の人材育成を図り次世代に繋げる

- ・まつり吉田の開催  
まつりの一角に、社協の席を設け、高齢者も参加しやすい場所の提供を行う。  
まつりのお手伝いに来てくれる若い人材を地域で見守りこれからの担い手となるよう指導していく。
- ・年末もちつき大会による多世代交流  
もちつきを行い、ぜんざいやきなこ餅のふるまいを行う。  
つきたてのお餅を高齢者のご自宅へ、小学校の児童と一緒に配布する  
おもちの配布のお礼として、小学生に後日、おかしのプレゼントにしている。

#### (3) 安全安心な校区にする

- ・毎月一度の誕生日鉢プレゼント  
見守り活動しながらホットパートナーへ配布している。
- ・ほっとパートナー見守り地図の作成
- ・防災フェスへの参画

#### (4) 広報誌による情報共有

- ・年2回の社協だよりを発行し、活動内容を地域住民と共有する。



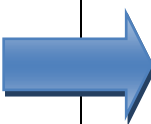


#### 4 重点実施項目


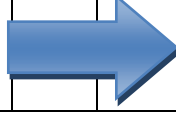
重点実施項目 1		春と秋の高蔵山ウォーキング開催					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
人生100年時代の今、健康寿命を延ばす為、地域の健康への意識づくりを目的に高蔵山ウォーキングを健康づくり委員と共に開催している。							
2 活動の方針・目標							
山登りを通じて、地域住民のコミュニケーションを図りながら、足腰を鍛える。 頂上ではニュースポーツや、子ども達のレクリエーションなどを行い、多世代交流も図る。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
頂上でのスポーツ・ゲーム	まちづくり協議会 区社協 市民センター						高齢化が進み、山登りが難しい人も増えてきた為、平地コースなどの検討をしていく。
多世代交流を図る昼食タイム							

重点実施項目 2		年末もちつき大会での多世代交流					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
若い世代がなかなか地域活動に参加しなくなった現状を踏まえ、ぜんざいやきなこ餅のふるまいをする事で、興味をもってもらい次世代の参加を促していく。							
2 活動の方針・目標							
多世代交流を目的に地域の活性化を図る。古き良き伝統を次世代へとつないでいく。 子ども達につきたてのお餅を配布してもらい、外出の難しい高齢者との交流を図る。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
餅つきの実施	市民以外 区社協 市社協 まち協 自治会						時代に即した形での行事の実施
次世代との交流会							
学童クラブとの連携							
高齢者と子ども達を繋ぐ事業							





重点実施項目 3		ほっとパートナー見守りマップの作成					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
現在吉田校区は高齢化がすすみ、ほっとパートナーの人数に対して、福祉協力員が不足している。民生委員、町内会長と一丸となり、校区の見守り体制を強めていく必要がある。							
2 活動の方針・目標							
吉田校区、各町内にどのくらいのほっとパートナーがいるのかを、見える化し、他団体と協力しながら見守り活動ができるよう、見守りマップを作成する。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
ほっとパートナー見守りマップ作成	まちづくり協議会 民児協 区社協						マップを活用し、不足している町内や組に福祉協力員人材発掘に力を注ぎ、増員を目指す。特に見守り活動が必要な方を町内会長や福祉協力員で情報を共有できるようにする。
福祉協力員発掘							
町内会長との連携づくり							

重点実施項目 4		防災フェスへの参画					
1 課題・背景（重点項目とした理由）							
令和4年度より、まちづくり協議会、にれの木町内会が主催の「防災フェス」を開催。長期を見据えながらスタートしたこの活動に社会福祉協議会も他人事と捉えず、我が地域にもいつ起こりうるかわからない危機感を持ちながら共催として活動していく。							
2 活動の方針・目標							
救護ブースとして担当しながら、福祉協力員も防災への意識を高め、実際の避難所運営の際、力を発揮できるよう学んでいく。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	5年後の達成目標
防災フェス救護担当	まちづくり協議会 市民センター 区社協						救護担当のブースを福祉協力員として担当していく。本当の災害に備え知識を増やしていく。
防災に関する勉強会							





## 第4章 計画の推進

### 1 計画の承認と周知

- ① 吉田校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画を実施する上で必要な関係機関・団体への周知・協力依頼

### 2 計画を推進するための体制

#### (1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、吉田校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、必要に応じ、以下のような計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な計画、実施
- ③ 進行管理の実施

#### (2) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

### 3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間に第二次計画策定委員会を設置し、次期計画策定に向けて協議を進めていきます。

### 4 吉田校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	山内 達夫	吉田校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	島津 昭	吉田校区社会福祉協議会	事務局長	
3	坂根 溥二	吉田校区社会福祉協議会	顧問	
4	山田 美恵	吉田校区社会福祉協議会	会計	
5	齋藤 博	吉田校区まちづくり協議会	会長	
6	安藤 多寿	吉田校区まちづくり協議会	顧問	
7	森 健二	吉田校区民生委員児童委員	会長	
8	間 宏隆	吉田町内会	会長	
9	松井 克演	下吉田町内会	会長	
10	元吉 勇	岩崎町内会	会長	
11	大口 力	にれの木町内会	会長	
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				



## 5 吉田校区小地域福祉活動計画の策定状況

回	開催日	参加人数	主な協議事項
1	令和4年 5月11日	5人	役員会 1 計画策定スケジュールについて 2 策定委員会メンバーについて
2	令和4年 6月23日	5人	役員会 1 小地域福祉活動計画の進行について
3	令和4年 7月22日	35人	策定委員会 グループワーク 1 校区の行事について 2 校区の福祉課題について
4	令和4年 9月16日	35人	策定委員会 グループワーク 1 校区の行事について 2 校区の福祉課題について
5	令和4年 11月2日	6人	役員会 1 査定委員会が出た課題について
5	令和5年12月14日	10人	策定委員会 1 グループワークの振り返りについて 2 基本理念について 3 重点実施項目について 4 今後のスケジュールについて
6	令和5年 1月27日	35人	策定委員会 1 校区の基本理念について 2 校区の特性について 3 意見交換
7	令和5年 2月 3日	6人	役員会 1 計画書最終確認
8	令和5年 3月24日	35人	策定委員会 1 計画配布・広報について



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』(Petit vo saurus)

Petit (プチ:ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≒恐竜)

吉田校区社会福祉協議会

〒800-0204 北九州市小倉南区中吉田6丁目27-5

吉田市民センター内

TEL 093-471-4603

FAX 093-471-4603